

## 会 議 録

会 議 名	佐野市西中学校区小中一貫校開校準備委員会 総務部会 令和5年度 第1回会議
日 時	令和5年7月6日（木） 午後6時30分～午後7時25分
場 所	佐野市立西中学校 1階 第2理科室
出 席 者	<p>【参加者】（21名） 別紙「委員名簿のとおり」 （欠席者：1名）</p> <p>【事務局】（計8名） 佐野市教育委員会 教育部長 学校適正配置課 課長、係長、係員4名</p>
配 付 資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次第、委員名簿</li> <li>・ 資料1 現状・背景概要</li> <li>・ 資料2 佐野市西中学校区小中一貫校の実施体制について</li> <li>・ 資料3 佐野市西中学校区小中一貫校開校準備委員会 専門部会設置方針</li> <li>・ 資料4 総務部会の進め方について</li> <li>・ 資料5 （参考）校名に関する情報</li> <li>・ 追加資料 西中学校区小中一貫校校名(案)募集アンケート（案）</li> </ul>
委員会内容	<p>委員会の内容については以下のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会 司会（学校適正配置課長）</li> <li>2 出席者紹介（自己紹介）</li> <li>3 概要説明 事務局より資料1、2、3を基に説明。質疑なし。</li> <li>4 部会長及び副部会長の選任について 部会長・副部会長を選任。 部 会 長：西 中 学 校 校 長 副部会長：天明小学校 校長</li> </ol>

委員会内容	<p>5 議題</p> <p>(1) 総務部会の進め方について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局より資料4を基に説明。質疑なし。</li> <li>・総務部会の検討方針について、事務局説明のとおり承認された。</li> </ul> <p>(2) 校名について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局より資料5を基に説明。</li> <li>・委員よりの質疑は以下のとおり。</li> </ul> <p>(委員)</p> <p>他市の例として「箒根学園」「小川北」があがっているが、これはもともとの中学校区での統合か。</p> <p>また、校名は地名や元の学校名か。</p> <p>(事務局)</p> <p>どちらの学校についても、中学校を核とした、中学校区内の統合である。</p> <p>また、名前については、地域名、元の中学校名である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・質疑後、校名(案)選定の方法について、学校単位で協議。 アンケート形式で、広く地域から校名(案)を募集することが決定された。</li> <li>・アンケート形式での募集決定を受け、アンケートの様式について、事務局作成の案を追加資料として配付し、内容について説明。</li> <li>・委員よりの質疑は以下のとおり。</li> </ul> <p>(委員)</p> <p>現状、天明小や植野小には、西中学校区ではない児童も通っているが、アンケートは全員に配るのか。</p> <p>(事務局)</p> <p>西中学校区小中一貫校の校名を募集するものであるため、学校には負担をかけて申し訳ないが、全員ではなく対象となる児童に配布することをお願いしたい。</p> <p>(委員)</p> <p>募集する校名の形式について、記載のように「義務教育学校」と付けなければならないのか。</p> <p>(事務局)</p> <p>法律上で必ず付けると決められているわけではないが、佐野市においては条例上の正式名称が、「佐野市立あそ野学園義務教育学校」「佐野市立葛生義務教育学校」という形である。</p> <p>日常的な呼び名、愛称としての「あそ野学園」のような呼び方で縛るものではないが、正式名称としては「佐野市立〇〇義務教</p>
-------	---

育学校」という形となることについて、ご理解をお願いしたい。  
(委員)

アンケートが無記名である理由は。

(事務局)

幅広く地域の方から募集するという目的による。

あそ野学園(義)や葛生(義)の募集の際も無記名だった。

他市では、地域内からの応募であるかの確認や、いたずら防止等の観点から記名式の例もあるが、逐一の確認は困難であること、地域から広く募集するという趣旨に照らし、無記名としている。

(委員)

Web上の応募については、西中学校区以外の人も応募できてしまうのではないか。

(事務局)

応募フォームは一般公開ではなく、アンケート用紙記載の二次元コードからしかアクセスできないため、基本的にはアンケート用紙の配布対象者からの応募となる想定。

(委員)

例えば自分の知り合いの人にこのアンケート用紙を見せれば、やはりアクセスできてしまうのではないか。

(事務局)

そのとおり。実際にそれを防ぎようはないが、趣旨と募集要件を踏まえ、理解いただくしかない考える。

(委員)

直接の提出先に、各学校を加えるべきではないか。

児童生徒に配付したアンケートの提出手段が郵送や市役所、公民館等ではたいへんだと思う。

(事務局)

夏休み前に児童生徒に配付する件については、負担をかけて申し訳ないが、学校に回収をお願いする予定。説明不足で申し訳ない。郵送や市役所等の提出先は、主に地元の方を想定している。

(委員)

このアンケートにより募集した案を整理し、次回、次々回の会議で絞っていく、という理解でよいのか。

また、総務部会として最終的に絞った案について、開校準備委員会ですべて否定されるということは考えられるのか。

(事務局)

選定の過程についてはそのとおり。

開校準備委員会で否定されることがあり得るか、については、可能性としてはあり得る。

ただし、総務部会での検討、選定の過程は尊重されるべきである

し、否定した場合の善後策も必要となることから、よほどの問題などがない限り、全面的な否定はあり得ないとする。

- ・アンケート様式、及びその配付、回収方法などについては、事務局案に以下の点を加筆し、実施することとなった。

※委員より指摘のあった、児童生徒の提出先は学校でよい旨の記述を加える

### (3) その他

- ・事務局より、以下のとおり説明。質疑なし。
  - ・次回総務部会は、アンケート回収、整理のうえ開催
  - ・時期は概ね9～10月ごろを想定しているが、詳細はあらためて部会員に通知する

## 6 閉会